

「重要活動テーマ」政策提言書

シティプロモーション

～ 誇れること 親しまれること 伝えること ～

総務文教常任委員会

目次

提言要旨	1
I はじめに.....	2
II 現状分析.....	2
1 人口の減少	
2 町の情報発信	
3 情報発信手段の多チャンネル化	
III 課題.....	3
1 各所管における情報発信量の違い	
2 情報発信の基準が統一されていない	
3 情報が希薄、固定、一方通行で魅力に欠ける	
VI 政策提言.....	4
提言…役場全体の情報発信スキルの底上げ	
情報の集積、更新、発信サイクルをつくる	
組織（部・課）を横断した情報管理発信チームの設置	
V おわりに.....	4

提言要旨

【現状分析】

- 人口の減少
- 町の情報発信状況
- 情報発信手段の多チャンネル化



【課題の抽出】

- 各所管における情報発信量の違い
- 情報発信の基準が統一されていない
- 情報が希薄、固定、一方通行で魅力に欠ける



【政策提言】

- 役場全体の情報発信スキルの底上げ
- 情報の集積、更新、発信サイクルをつくる
- 組織（部・課）を横断した情報管理・発信チームの設置

I はじめに

幕別町においても移住、定住、観光誘客、特産品紹介など、さまざまなプロモーション活動を行っているが、それぞれのニーズに効率よく対応し、または訪問者に強く印象を与え、興味を広げてもらえるといった、部門横断的システムが構築されていない状況にある。

シティプロモーションは地方自治体が行う「宣伝・広報・営業活動」であり、地域のイメージ向上やブランドの確立を目指す「地域活性化のためのすべての活動」であり、幕別町の活動に触れた人にはファン〔最良（ひいき）〕になってもらい、住民にはさらなる愛着を持っていただくという効果を期待するものである。

幕別町ブランド（サービスを受ける方の印象）を高めるための有効な事業であることから、現状を十分に調査し、適切なシティプロモーションのあり方について検討することが必要であることを提言することとした。

II 現状分析

1 人口の減少

幕別町の人口は、平成 27 年国勢調査（26,760 人）に比べ令和 2 年調査（25,766 人）で 994 人が減少している。将来の人口推計は「まち・ひと・しごと創生法」（平成 26 年法律第 136 号）に基づく、「幕別町人口ビジョン」（令和 2 年 3 月改定）によると、令和 27 年（2045）には総人口が約 2 割減少し、令和 42 年（2060）には 20,000 人を下回る見込みである。（図 1-1）。

年齢 3 区分別人口をみると、年少人口および生産年齢人口とも減少が続き、生産年齢人口は令和 42（2060）年までに約 5,500 人減少する。一方、老年人口は令和 7 年（2025）まで増加し続け、高齢化率は令和 27（2045）年に 34.1%まで達する見込みである。（図 1-2）。

図 1-1 将来の総人口の長期的見通し

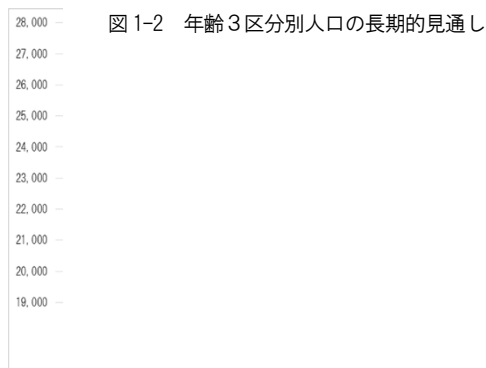
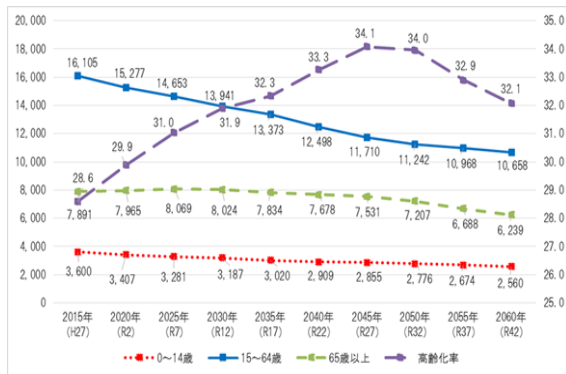


図 1-2 年齢 3 区分別人口の長期的見通し



※出典 「幕別町人口ビジョン」

2 町の情報発信

広報紙及びホームページを主として、定期的かつリアルタイムで情報を発信している。災害等緊急時は、防災無線も活用している。

町ホームページアクセス数は令和元年度の 273,571 件に対し令和3年度が 705,953 件。

また、ふるさと寄附においては令和3年度実績として寄附を募集するサイト数が3箇所、広告の掲載回数（Web、新聞、雑誌等）9回、寄附件数 14,822 件、寄付金額 263,523,000 円である。

3 情報発信手段の多チャンネル化

SNS 等を活用した情報発信を開始した。（Facebook 平成 30 年 7 月、Twitter 平成 30 年 11 月、Instagram 平成 31 年 1 月に開始）

SNS 投稿数は令和元年度 761 件に対し令和3年度が 1,112 件であり、それに伴う SNS アクセス数（リーチ数）は令和元年度 796,376 件に対し令和3年度 1,106,929 件と伸びている。

地域おこし協力隊の SNS 情報発信は令和3年度 372 件であり、インスタグラムのフォロワーは幕別と忠類を合わせて 1,392 人である。

Ⅲ 課 題

1 各所管における情報発信量の違い

各担当課において、担当する事務内容が異なることから、情報の発信量に違いが生じている。

2 情報発信の基準が統一されていない

随時情報を発信しているが、情報発信に関する統一的な基準がないことから、各担当課での取り扱いに差が生じている。

課題の整理

- 町が伝えたい情報、リスナー（フォロワー）が知りたい情報、訪問者がリピートしてくれる情報に、コンテンツを整理する必要がある。
- 各々の情報提供に適したメディアを有効に使う必要がある。
- 情報の需要、必要性、重要性を調査・判断し、効果的な方法で提供する必要がある。

IV 政策提言

幕別町の人口は減少に向かうことが見込まれ、年少人口および生産年齢人口の減少とともに高齢化率は上昇することが想定されている。

今後、町の活力を維持していくため、住民には愛着と誇りをもってもらい、全ての人に興味をもってもらえる幕別町で在り続けるため、シティプロモーションが有効であり、早い段階からの取り組みが必要であると考えられる。

そこで、次のとおり提言する。

提言 役場全体の情報発信スキルの底上げ

有効かつ効果的な情報を発信するためには、マニュアルを作成するなど役場全体の情報発信スキルを底上げすることが必要と考える。

提言 情報の集積、更新、発信サイクルをつくる

町が発信したい情報、「町民が」もしくは「町民以外が」知りたい情報を集積し、効率よく必要な情報にたどり着いてもらえるように、ターゲットのニーズを調査、更新、発信、検証を繰り返していく必要がある。

また、必要な情報への到達や一度の訪問で終わらせることなく、次の情報や再度の訪問を欲するような提供に努めるとともに、その成果を調査、分析するための協力者（モニター等）体制の構築が必要と考える。

提言 組織（部・課）を横断した情報管理・発信チームの設置

広報活動は町の宣伝広告（プロモーション）であることから、組織が一丸となつての取り組みが必要と考える。そのことから広報活動をコントロールする組織を町の施策がリンクする情報管理・発信チームを設置する必要がある。

V おわりに

我が幕別町は、いくつもの財産を持っているが、財産の知名度に「幕別町」というブランドが引けを取ることなく、相乗的に効果を上げられるようにするには情報は多いほうがよく、効果的に伝えるにはユーザーが必要とするもしくは興味を持つ情報に整理されていることが必要である。

幕別町の個性や能力を見つけ、それを愛してくれるファンを飽きさせない状況を続けて行くため、この政策提言がきっかけとなり、参考となることを願っている。

資 料

常任委員会「重要活動テーマ」の「政策提言」までの経緯

年 月 日	内 容
令和3年5月7日(金)	○R元改選（後期）委員会構成の決定
令和3年6月22日(火)	○重点活動テーマについて検討
令和3年7月5日(月)	○重点活動テーマについて検討 ・蝦夷文化考古館、ふるさと館 ・シティプロモーション 2候補に選定
令和3年8月4日(水)	○重点活動テーマについて2候補を所管事務調査 ・蝦夷文化考古館、ふるさと館（教育委員会説明） ・シティプロモーション（先進事例の紹介）
令和3年8月4日(水)	○重点活動テーマを「シティプロモーション」に選定
令和4年3月16日(水)	○シティプロモーション先進事例の研究調査
令和4年4月13日(水)	○地域おこし協力隊との意見交換 ○先進地研修視察について検討
令和4年6月1日(水)	○先進地研修視察について検討（栗山町、恵庭市を計画地する）
令和4年6月10日(金)	○先進地研修視察について検討（栗山町、恵庭市に決定する）
令和4年7月5日(火)	○「栗山若者シティプロモーション」を研修視察
令和4年7月6日(水)	○「ガーデンシティえにわ」を研修視察
令和4年8月25日(木)	○政策推進課所管事務調査「まちの魅力を発信するための事業について」 ○先進地研修視察報告書の確認
令和4年9月7日(水)	○政策提言（要旨）について
令和4年10月19日(水)	○政策提言（要旨）について
令和4年11月16日(水)	○政策提言（要旨）について
令和4年11月21日(月)	○政策提言（素案）について
令和5年1月24日(火)	○政策提言（素案）について
令和5年3月8日(水)	○政策提言（素案）について
令和5年3月17日(金)	○議長へ報告書提出

総務文教常任委員会

職名	氏名
委員長	若山和幸
副委員長	野原恵子
委員	石川康弘
委員	谷口和弥
委員	芳滝仁
委員	小川純文